

ミキシングコンソールテスト

FX100 導入例



あるミキシングコンソールの大手メーカーでは、生産工程での最終検査について、テスト時間を大幅に短縮する新しいオーディオ測定器の導入を検討していました。

導入の鍵となったのは、多機種に伴う多様なテスト仕様への対応と、短いテストシーケンスの中で如何にオペレータへ操作を指示するか、ということでした。

その結果、優れたテストパフォーマンスとフレキシビリティを備えたNTi Audio FX100オーディオアナライザとI/Oスイッチャーの組み合わせが、最適なテストソリューションとして採用されました。

Mixing Console
FX100 Analyzer



導入の決め手

- 全体のテスト時間を30分から6分まで短縮。
- VBプログラムがオペレーターへの指示やテストレポートの作成を含むテストシーケンスをコントロール。
- テストシーケンスがフェーダー/ボリュームのガリ音を高精度に検出。

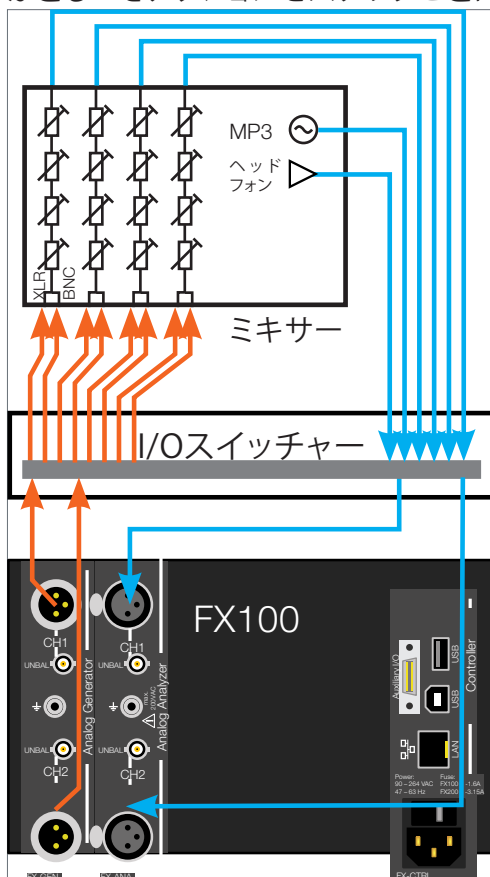
課題

ミキシングコンソールを大量に生産するメーカーでは、最終検査のスピードアップを図るため、現在の検査方法に代わる手法、およびそれを実現するテストシステムが必要でした。

新しいテスト手法はPCで制御され、コンソールの全て（即ちI/Oコネクタ、フェーダー/ボリューム、モニター出力、ビルドインMP3プレーヤー等）の機能を検査します。

ソリューション

簡潔な現状分析を終えた後、高速な測定器と周到に考えられたシステム構成の組み合わせが、唯一導入コストを増大させることなく、要求に応えられる条件であることが明らかになりました。その結果、FX100 オーディオアナライザとOS-0210アウトプット、IS-1002インプットスイッチャーを組み合わせたシステムが採用されました。さらにNTi Audioは、FX100 .NET APIを基にしたユーザーカスタマイズのビジュアルベーシックプログラムを用意しました。このプログラムは、実行するテスト、オペレーターがとるべきアクションをステップごとに指し示し、テスト後に詳細なテストレポートを作成します。



新しいテストセットアップは、1台のミキシングコンソール全体のテスト時間を、およそ30分から6分に短縮しました。

システム概要

ハードウェア

- NTi Audio FX100 2CH オーディオアナライザ
- NTi Audio OS-0210 アウトプットスイッチャー
- NTi Audio IS-1002 インプットスイッチャー

コントロールソフトウェア

- NTi Audioによるビジュアルベーシックプログラム

測定項目

- グライドスイープによる周波数レスポンス
- レベル、THD (メータモード)
- フェーダー/ボリュームのガリ音テスト
- ファンタム電源チェック
- ハムノイズのFFT解析